

# 趣意書

第 4 回国際生殖生物学会組織委員会  
Fourth World Congress of Reproductive Biology Conference  
(WCRB2017) Organizing Committee

謹啓

貴社におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私どもは2017年9月27日(水)～9月29日(金)に、第4回国際生殖生物学会 [英語名 The Fourth World Congress of Reproductive Biology (WCRB2017)] を沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにおいて開催するための準備を進めています。

この国際会議は、日本・米国・英国・豪州・中国・韓国の各国において生殖生物学分野の学術研究をリードする学会・学術団体の連携により3年に一度開催されています。第1回会議は米国ハワイ(2008年)で開催され、その後に豪州ケアンズ(2011年)、英国エジンバラ(2014年)と開催を重ね、第4回会議を2017年に沖縄(日本)で開催すること、およびそのホスト学会を日本繁殖生物学会が担当することになりました。

第4回会議には、400名を超す参加者が見込まれており、連携する6カ国の学会・学術団体の代表者がそれぞれ基調講演を行うことで、国際的な協力関係を深化させるとともに、約100題シンポジウム講演と一般口頭講演、および300題以上の一般ポスター講演の実施を予定しています。また本会議の特徴は、若手研究者による成果発表や研究交流の推進に力点を置いていることで、これにより生殖生物学の将来的な発展を担える優秀な研究者の育成を目指します。

ご存じのように国際会議の運営には多額の費用を要し、組織委員会においても収入を得るために最善を尽くしていますが、まだ不足しているのが現状です。貴社におかれましては、本国際会議の趣旨をご理解いただき、ご賛同とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成28年8月吉日

第4回国際生殖生物学会組織委員会

委員長 東村博子

名古屋大学副理事・同大学院生命農学研究科教授

## 第4回国際生殖生物学会の概要

### 1. 学会の名称

和文名：第4回国際生殖生物学会

英文名：The Fourth World Congress of Reproductive Biology (WCRB2017)

### 2. 開催機関等及び責任者名

主催：Fourth World Congress of Reproductive Biology 組織委員会

組織委員長：束村 博子（名古屋大学副理事・同大学院生命農学研究科教授）

共催：（一社）日本繁殖生物学会 (SRD, Japan), 日本生殖内分泌学会 (JSRE, Japan)

協賛：Society for Reproductive Biology (SRB, Australia), Society for Reproduction and Fertility (SRF, United Kingdom), Society for the Study of Reproduction (SSR, USA), Chinese Society of Reproductive Biology (CSR, China), Korean Society of Animal Reproduction (KSAR, Korea)

### 3. 会期：2017年9月27日（水）～ 2017年9月29日（金）

### 4. 会場：沖縄コンベンションセンター

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1

TEL：098-898-3000, FAX：098-898-2202

### 5. 主催責任者：第4回国際生殖生物学会組織委員会

組織委員長：束村博子（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

事務局長：菊地和弘（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門主席研究員）

事務局：〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

TEL：029-838-7447, FAX：029-838-7106

### 6. 大会の目的

第4回国際生殖生物学会は、哺乳類の生殖科学・繁殖学分野の第一線の研究者が世界各国より日本に集い、最新の研究成果についての発表・議論を行うことにより、我が国の生殖生物分野の優れた研究成果を世界に発信するとともに、米国・英国・豪州・中国・韓国をはじめとする世界各国の研究者との情報交換・議論を通じて我が国の当該分野の振興と普及に資すること、および若手研究者の養成・国際学术交流の推進を目的としています。また、本国際会議がカバーする研究分野は農学・獣医学、理学、医学と幅広く、研究領域の垣根を越えた交流が、医薬品等の関連企業による製品開発シーズの探索の一

助になると考えています。

## 7. 開催計画の概要

講演形式： 基調講演，シンポジウム，一般講演（口演・ポスター），  
若手企画シンポジウム

使用言語： 英語

参加予定者数： 国外 100 名，国内 300 名，合計 400 名

参加予定国等： 日本，豪州，英国，米国，中国，韓国，タイ，  
ベトナム，フィリピン，シンガポール，台湾など

## 8. 開催実績

第 1 回開催地・年・担当学会： 米国ハワイ・2008 年・SSR

第 2 回開催地・年・担当学会： 豪州ケアンズ・2011 年・SRB

第 3 回開催地・年・担当学会： 英国エジンバラ・2014 年・SRF

第 4 回開催地・年・担当学会： 日本沖縄県・2017 年・SRD（予定）

## 9. 寄付・賛助金等を必要とする理由

国際生殖生物学会の開催は、哺乳類における生殖生物学、生殖工学、生殖内分泌学分野の活性化に大きく寄与し、その活性化の効果は、家畜の生産性向上、獣医技術の向上のみならず、産科婦人科学、泌尿器科学などの医学分野における生殖医療技術の向上等に資することが期待されます。2017年9月に沖縄県において開催する第4回会議には、海外から約100名、国内から約300名の合計400名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費を約3,700万円と見込んでいます。これらの経費は、本来、大会登録費やホスト学会（SRD）・協賛学会（海外の5学会）の拠出金等でまかなうことが前提であります。特に若手研究者の参加を促進するための支援等（学生参加費の低料金設定、参加奨学金、若手企画シンポジウムの開催）を充実させたいとの事由により、収入総額が500万円不足しているため、この不足額を諸企業および諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。このような理由により、ご理解とご協力をお願いする次第です。なお、寄付・賛助金の申し出をいただきました企業、団体等の名称の一覧を講演要旨集などに掲載させていただき予定であることを申し添えさせていただきます。

10. 所用経費概算

収入の部

収支区分	金額 (円)
大会参加費	15,000,000
学会協賛金 (SRD)	5,000,000
"    (その他の学会)	3,000,000
助成金	9,000,000
広告費・展示費	3,750,000
寄付・賛助金	1,250,000
収入合計	37,000,000

支出の部

支出区分	金額 (円)
業務委託費	22,000,000
会場費・設備使用料 (冷房費を含む)	6,700,000
大会準備費・事務局運営費	5,000,000
人件費 (アルバイト代)	1,200,000
若手支援費 (参加奨学金・企画シンポジウム)	1,400,000
参加者移動用バスチャーター費	500,000
報告書作成・会計監査費	200,000
支出合計	37,000,000

## 寄付・賛助金申込書

下記のように第4回国際生殖生物学会に寄付・賛助金の申し込みを致します。

金額 \_\_\_\_\_ 円（一口 1万円）

（3口以上を目安とお考えいただけましたら幸いです。）

御社名

ご担当者名

e-mail:

（不都合でなければ、電子メールアドレスもお教え下さい）

ご連絡先

プログラム等にご寄付の旨を記載する場合の表記法

（例：（株）〇〇製薬工業，〇〇機器株式会社など）

（寄付申込書送付先） Fax : 029-838-7106

〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

生物機能利用研究部門 動物機能利用研究領域

第4回国際生殖生物学会組織委員会

事務局長 菊地 和弘

TEL : 029-838-7447

E-mail : [kiku@affrc.go.jp](mailto:kiku@affrc.go.jp)

振込銀行口座

ゆうちょ銀行

記号番号：総合：10110-97748801（普通：〇一八店 9774880）

名義名：一般社団法人 日本繁殖生物学会 第4回国際生殖生物学会

よみ：シヤ)ニホンハンショクセイブ`ツカ`ツカイ タ`イヨンカイコクサイ  
セイショクセイブツガツカイ

## 広告掲載申込書

下記のように第4回国際生殖生物学会の講演要旨集での広告掲載を申し込みます。

掲載希望広告件数 A4版1/2ページ：\_\_\_\_\_件， A4版1ページ：\_\_\_\_\_件  
金額\_\_\_\_\_円（A4版1/2ページ5万円， 1ページ10万円）

御社名

ご担当者名

e-mail:

（不都合でなければ，電子メールアドレスもお教え下さい）

ご連絡先

プログラム等に広告掲載の旨を記載する場合の表記法

（例：（株）〇〇製薬工業， 〇〇機器株式会社など）

（広告掲載申込書送付先） Fax：029-838-7106

〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

生物機能利用研究部門 動物機能利用研究領域

第4回国際生殖生物学会組織委員会

事務局長 菊地 和弘

TEL：029-838-7447

E-mail：[kiku@affrc.go.jp](mailto:kiku@affrc.go.jp)

振込銀行口座

ゆうちょ銀行

記号番号：総合：10110-97748801（普通：〇一八店 9774880）

名義名：一般社団法人 日本繁殖生物学会 第4回国際生殖生物学会

よみ：シヤ)ニホンハンショクセイブ`ツカ`ツカイ タ`イヨンカイコクサイ  
セイショクセイブツガツカイ